

○ 自己を卒直に発表することができると、個性がはっきりしている。

○ その反面、保護される段階である三才の時代を幼稚園で過ごしたため、二年目になってもその習慣のこり、四才になつてから入園した幼児に比べて、自主自律への脱皮の機会をつかみにくい幼児がある。

○ 三才児は、乳児から幼児へのうつりかわりの時期であり、母乳による免疫がなくなつているので、はしか、水痘、耳下腺炎などの伝染性疾患にかかりやすいので、とくに身体的に虚弱なものは、発育を停滞されるおそれがある。

○ また、三才児においては、とくに生年月日の早いおそれによつて、発達段階の差が大きいため、集団生活の当初において劣弱感を抱くものがある。

○ 右のような状態で、例えば、体が小さい、足が弱い、言語不明瞭、などによつてきずかれた集団内においての位置からぬけ出せないものができる。

○ また、当園のように、三才児保育を受けたものと、二か年保育一年目のものと

の混合組を編成した場合、

・ 急に、三十名を一名で担任するため、三才児保育を受けたものが教師に対して要求不満をもつ。

・ 新入園児は、自分で遊びを選択したり発展させたりできないため、教師の指導面が多く出て、自由を束ばくされた感じを持つ。

・ しかし、また反面では、幼稚園生活全般にわたつてリードすることができるので、自信をつける機会でもある。

・ 新入園児を遊びに誘導し、いたわる態度を身につけることができる。

以上、思いつくままに羅列してきましたが、とくに問題とおもいますのは、身体虚弱児と、身体的・精神的発達のおくれている幼児——生年月日のおそい幼児も含めて——のとりあつかい方だとおもいます。

また、施設、設備、クラス編成と教師の数など、豫算の都合上、おもうに、まかせない面も多くありますが、教育内容について、口口、研究と努力を積みかさねていきたいとおもつております。

(奈良女子大学付属幼稚園)

幼児の教育 第五十八巻 第八号

八月号 © 定価五〇円

昭和三十四年七月二十五日印刷

昭和三十四年八月 一日発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

編集兼 津 守 貞
発行者

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五番地

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三〇一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

○ 本誌ご購入についてのご注文は発売所 フレーベル館にお願いいたします。